

人事異動報告

所属	職名	氏名	異動年月日	異動事項	備考
生科	助手	松井 泰	2005.12.30	死亡	
化学	助教授	中村 正治	2005.12.31	退職	京都大学化学研究所教授へ
物理	助手	谷藤 高子	2005.12.31	退職	東京薬科大学助教授へ
生科	科学技術振興特任研究員	佐藤 直人	2005.12.31	退職	
化学	助教授	紫藤 貴文	2006.1.1	休職更新	～ 2006.12.31
事務	施設係主任	新井 寛	2006.1.1	復職	
事務	共同利用係	村石 昌昭	2006.1.1	復職	
物理	係長	山口 智之	2006.1.12	休職	～ 2006.2.28
生科	技術研究支援員	表 賢珍	2006.1.15	退職	
生化	助手	真田 佳門	2006.1.16	採用	
化学	助手	村田 昌樹	2006.1.31	退職	ソニー（株）マテリアル研究所へ
生科	産学官連携研究員	安彦 真文	2006.1.31	退職	
生科	学術研究支援員	安彦 真文	2006.2.1	採用	
物理	助手	岡 隆史	2006.2.1	採用	
化学	助手	久米 晶子	2006.2.1	採用	
物理	一般職員	山口 淳一	2006.2.1	休職更新	～ 2006.3.31
地惑	拠点特任研究員	菅沼 悠介	2006.2.1	採用	

東京大学大学院理学系研究科・博士学位取得者一覧

(2005年12月, 2006年1月)

2005年12月12日付学位授与者(3名)

(※)は原著が英文(和訳した題名を掲載)

種別	専攻	申請者名	論文題目
課程博士	物理学	鈴木 隆敏	K中間子の原子核による深束縛状態の探索(※)
課程博士	生物化学	古屋 美和	線虫の様々な器官形成に関わる eyes absent family 遺伝子 <i>eya-1</i> の解析
課程博士	生物科学	藤川 和美	ヒマラヤ産トウヒレン属 <i>Eriocoryne</i> 節(キク科)の分類学的研究(※)

2006年1月23日付学位授与者(5名)

種別	専攻	申請者名	論文題目
論文博士	生物化学	北島 智也	保存されたタンパク質シュゴシンは姉妹セントロメア間の接着を保護する
論文博士	生物化学	塩川 大介	新規なDNase IエンドヌクレアーゼDNase γ の性状検討及びアポトーシスにおける機能解析(※)
課程博士	化学	大城 敬人	STM分子探針を用いた相補的核酸塩基検出(※)
課程博士	生物化学	亀田(新座) 麻記子	ショウジョウバエ神経細胞の層特異的投射における Capricious の役割
課程博士	生物化学	高橋麻裕子	ショウジョウバエ発生における Src42A と armadillo, shotgun の遺伝的相互作用の重要性

2006年1月31日付学位授与者(1名)

種別	専攻	申請者名	論文題目
課程博士	化学	比田 直輝	遺伝子コード型蛍光プローブによる生細胞内でのナノモル濃度領域の一酸化窒素の可視化検出(※)

第9回理学部公開講演会のお知らせ

春の理学部公開講演会が、駒場キャンパスで行われます。今回はテーマを「**理学研究のさまざまな面白さ**」とし、理学部で行われているさまざまなタイプの研究の紹介を通して、理学研究の幅広さを、とくに若い世代にアピールできればと考えております。

[講演内容]

駒宮 幸男 教授 (物理学専攻)

「加速器で解明する素粒子と宇宙の謎」

多田 隆治 教授 (地球惑星科学専攻)

「巨大天体衝突による環境擾乱と生物絶滅」

平木 敬 教授 (情報科学科)

「世界最高速の計算と通信を目指して」

[日 時] 2006年4月21日(金) 18:00～20:30 (17:00開場)

[場 所] 東京大学駒場キャンパス 数理科学研究科大講義室

[参加費] 無料(当日先着240名)

[主催・問い合わせ先] 東京大学大学院理学系研究科・理学部

T E L : 03-5841-7585

E-mail : shomu@adm.s.u-tokyo.ac.jp

U R L : <http://www.s.u-tokyo.ac.jp/pl9/>

あとがき

今年度最後の「大学院理学系研究科・理学部ニュース」をお届けします。連載シリーズ「附属施設探訪」の最終回は、天文学教育研究センター(三鷹本部)です。本号の表紙は、この連載の企画当初から牧島編集委員長が企画されていたとおり、美しい三鷹の桜で飾ることができました。卒業、退職、転任などで理学系を離られる皆様のお見送りに、彩りを添えることができたとおもいます。今回、定年退職者あいさつのページを数年ぶりに復活いたしました。後進のわれわれにとって含蓄のある言葉ばかりで、いまさらですが、すごい方々がすぐ近くにいらしたのだなと思い知りました。できることならこのコーナーだけを別冊にして、もっと十分にお話を伺いたいくらいなのですが、紙面の関係で原稿の長さを限らせていただいたことを残念に思います。退職あいさつの文章、

とくに普段あまりお話をうかがう機会のない他専攻の先生方の原稿を拝読していると、専門分野にかかわらず理学系が共通してもつ空気・文化のようなものを感じます。われわれの日頃の活動が、研究科の組織・制度だけではなく、そういった無形のバックボーンにも支えられていることを改めて認識いたします。考えてみれば、学部学生を含めたすべての構成員が、理学系の一員であることを意識する全体行事は意外に少ないように思います。5月に植物園でビールを飲むときを除けば(?)、この「理学系・理学部ニュース」を開くときはその数少ない貴重な機会ではないでしょうか。これからも「ニュース」が、理学系の文化・空気、そして新しい風を、内外に対して的確に伝えてゆけるよう、皆様のご協力とご支援をお願いいたします。

後藤 敬(化学専攻 助教授)

第37巻6号

発行日：2006年3月20日

発行：東京大学大学院理学系研究科・理学部

〒113-0033 東京都文京区本郷7-3-1

編集：理学系研究科広報委員会所属 広報誌編集委員会

牧島 一夫(物理学専攻) maxima@phys.s.u-tokyo.ac.jp

横山 央明(地球惑星科学専攻) yokoyama.t@eps.s.u-tokyo.ac.jp

真行寺千佳子(生物科学専攻) chikako@biol.s.u-tokyo.ac.jp

後藤 敬(化学専攻) goto@chem.s.u-tokyo.ac.jp

渡辺 正昭(庶務係) mwatanabe@adm.s.u-tokyo.ac.jp

加藤 千恵(庶務係) c-kato@adm.s.u-tokyo.ac.jp

小野田恵子(庶務係) onoda@adm.s.u-tokyo.ac.jp

e-mail : kouhou@adm.s.u-tokyo.ac.jp

HP担当：

名取 伸(ネットワーク) natori@adm.s.u-tokyo.ac.jp

HP & ページデザイン：

大島 智(ネットワーク) satoshi@adm.s.u-tokyo.ac.jp

印刷・・・三鈴印刷株式会社